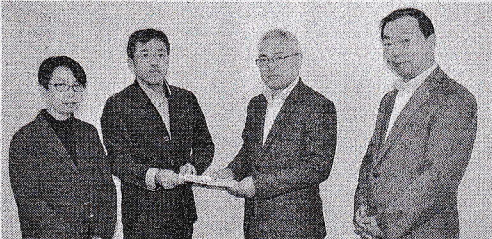


知事選へ「本気の共闘」

北海道 明るい会と党道委懇談



要請する（左から）石岡、三上の両氏と、青山、千葉の両氏。14日、札幌市

来春の北海道知事選まで5カ月。国言いなりの高橋はるみ道政から道民本位の道政への転換をめざす「明るい革新道政をつくる会」は14日、日本共産党道委員会を訪れ、市民と野党の共闘で知事選勝利へ共同に向けた協議を要請しました。

三上友衛道労連議長と石岡伸子新日本婦人の会道本部会長の両代表世話人は、明るい会が各分野の政策を13項目にまとめた「知事選政策第1次案」を、応対した青山慶二委員長と千葉隆書記長に手渡し、懇談しました。三上氏は野党各党を訪れ、「共闘の意思は変わらない」「野党と変わらない」「野党として一緒にやっていきたい」との話になったと紹介。「政策協定につながる協議の場をつくってもらい、統一候補擁立のための『本気

の共闘』へ努力してほしい」と求めました。

青山氏は、憲法を守る、貧困と格差をなくすなど明るい会の「4つの共同目標」は各野党で一致し、その線で協議していくと表明。

「明るい会は知事選をたたかう母体です。共闘の可能性を追求し、候補者決定でも自ら攻勢的にたたかうとの構えで進めていきたいと思います」と述べました。